

指導と評価の年間計画（2008・H20年度）

教科	科目	開設学年	単位数	教材名等
国語	古典演習	3	2	アクセス古文2（京都書房）

到達目標	さまざまなジャンルの古典作品を読むことによって、古典世界の理解を深める。さらに、時代の推移の中で古典作品がどう変化したかも理解させる。音読を重視し、視聴覚的なアプローチも試みる。進学に対応できる力も涵養する。
到達目標に向けての具体的な取り組み 【指導上の】留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の主体的な取り組みを重視する。 ・ 古文の総合的な力を着実につける。

月	進度（単元・章・項）	指導内容（項目／活動）	評価方法等	評価のポイント
4 月 ～ 7 月	1. 物語、随筆等の作品を読ませる。 2. 古典常識文例資料の提示。 3. 文法的なものとしては独立語を中心にとりくませる。修辞法についても問題用例を提示する。	1. 物語、随筆を読ませることで、作品世界の理解と読解力を付ける。 2. 古典常識の理解、及び作品世界の背景の理解を深める。 3. 文法的な読解力を深めるため、用例文の提示と問題集の理解を進める。	1. 問題集・ノート提出 2. 朗読 3. 期末考査	・問題を自分の力で解いているか。 ・意味調べはできているか。 ・現代語訳は適切であるか。 ・文法的事項は書き込めているか。 ・文学史はまとめているか。 ・内容をよく理解して、朗読できているか。
8 月		休業中課題（自主課題）		
9 月 ～ 12 月	1. 評論文、物語等を読ませる。 2. 古典文の総合的理解につながる文例を提示する。 3. 文法的なものとして、敬語法、韻文の修辞法などを提示する。	1. 評論文、物語等を読ませることで文章の理論的読解力を付ける。 2. 古典文学と現代社会との関連性を追求する。 3. 敬語法、韻文等の修辞法の理解を深めるための問題集を解き進める。	1. 問題集・ノート提出 2. 朗読 3. 期末考査	
1 月 ～ 3 月	1. 名文といわれるものの提示。ジャンルは物語、日記、随筆、韻文の中からエッセンスを抜粋する。 2. 古典の総合的理解を深めるためのまとめをする。	1. 名文の音読、書写に取り組み、その作品背景作者について探究し、まとめさせる。	1. 問題集・ノート提出 2. 朗読 3. 期末考査	